

## 1つのタスキに思いをつないで 市駅伝競走大会

10月25日

第34回宇和島市駅伝競走大会が、和霊公園～住吉小学校前折返しコースで開催されました。

山下 旦陽 選手（津島中学校）の力強い選手宣誓を受けて、中学・高校・一般の部に出場した男女計28チームが熱戦を繰り広げました。

当日は天候にも恵まれ、選手は仲間や沿道からの温かい声援を受けながらコースを駆け抜けました。チーム一丸となってタスキをつなぎ、団体・区間新記録も生まれました。

結果は市ホームページに掲載しています。



## 宝くじの助成で整備しました



一般財団法人自治総合センターでは、全国自治宝くじの売上金の一部を財源として、地域のコミュニティ活動の充実・強化および地域社会の健全な発展の向上を図るための助成事業を実施しています。

平成27年度は、「伊吹龍心太鼓保存会」が太鼓の皮の張替整備を行いました。

今回の太鼓の整備により、伝統文化の保存および後継者の育成を図ることができ、より一層強固な地域コミュニティを築くことができます。また、「伊吹龍心太鼓」という地域の貴重な伝統芸能を通じて、各種イベントへの協力や市内外との交流促進も期待しています。



## 「新説・松之廊下 ～吉田伊達家の忠臣蔵～」

10月25日

10月25日(日)、宇和島藩初代藩主 伊達 秀宗の孫にあたり、伊予吉田藩3代藩主 伊達 宗春を主人公とした市民劇「新説・松之廊下～吉田伊達家の忠臣蔵」が吉田公民館で上演されました。

宇和島伊達400年祭の事業として行われた今回の劇は、監督を大西 正一 さん、脚本を宇神 幸男 さんが務め、地元市民9人により演じられました。宗春公や浅野内匠頭が任じられた、天皇・上皇の使者を接待する饗応役の苦労や当時の文化など、史実を分かりやすく伝えるだけでなく、客席でも演技を行うなど、ユーモアを織り交ぜた演出に、会場からは大きな笑い声が起こっていました。

昼・夜の部の2回の上演で約800人が来場し、各回とも万雷の拍手の中、幕を下ろしました。



## 発電発電機と投光器が 寄贈されました

10月21日

10月21日(水)、一般社団法人日本道路建設業協会四国支部より、発電発電機 (2.5 kVA) 1台と投光器 (500W) 1個が市へ寄贈されました。

同支部は、災害発生時の救援活動、復旧活動などに役立つようにとの思いを込め、四国内で毎年4箇所程度を選定して、発電機と投光器の寄付を続けています。今回は、「道の駅みま」が県の広域防災拠点（物資拠点）に指定されていることから、寄贈先として選定されました。

今後は、日ごろの点検も兼ねてイベントなどでもお披露目しながら使用する予定です。

